

Next

発行所 一般社団法人茨城県建設業協会
建設未来協議会

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-1-22
電話 029(221)5126(代)

ホームページ <http://miraikyo.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/kensetsumiraikyo/>

発行人 小林 圭一

平成30年度基本方針

建設未来協議会 会長 小林 圭一

近年、我々地方建設業を取り巻く環境は、一時期の低迷を脱しつつあるものの、東京オリンピックを控え、建設需要が旺盛な都市部に比べ、公共工事に依存せざるを得ない地方とでは、事業量の地域間格差、企業間格差が拡がりつつあります。

中でも今後益々高齢化が進み、労働人口が減少していく中、担い手の確保・育成や生産性向上への取組は喫緊の課題であり、乗り越えなければならぬ大きな問題です。この問題を克服していくためには、各現場におけるICT施工の積極的な導入、働き方改革による雇用環境の改善に取り組んでいかなければなりません。

特に、働き方改革では長時間労働の上限規制が設けられ、建設業は5年間の猶予期間が設けられていますが、5年後には他産業と同じ規制が適用となるなど、働き方改革を加速させていく必要があります。

当協議会においても、人材の確保・育成に不可欠な「働き方改革」と「生産性向上」を最重要課題に掲げ、全会員で意識を高めていかなければならないと考えております。このように業界を取り巻く環境が、大きな変革を迎えている中、発注者様と歩調を合わせ、週休2日制の実現、発注の平準化やICTによる生産性の向上、技能労働者の適正賃金確保等、改善に向け発注者様との紐帯をより一層強固にし、経営の安定を図っていく必要があります。

そして今後も、我々地域建設業者は、インフラ

の長寿命化・老朽化対策、災害時には応急・復旧工事対応等、地域の安全・安心を守る大きな役割を担っていかねばなりません。

そして将来に亘って、その役割を果たしていく為にも、担い手を確保・育成し生産性を向上させながら健全な経営に努めて参りたいと思います。

今年度も事業計画に基づき、4つの委員会と6つの地区会での活動を中心に、これまで通り建設フェスタをはじめ現場見学会、現場実習、そして発注者様との意見交換会や、会員の皆様との講習会を開催し、広報活動を通じ広く一般の方々に建設業の魅力や必要性を伝えながら、将来一人でも多くの方に入職して頂けるよう、イメージアップ活動に注力して参りたいと思います。

また会員の皆様には、これらの活動に積極的に参加して頂くことにより、有効な情報を互いに共有し、全県下にネットワークを形成することから生まれるメリットを各企業で最大限活かしていただきたいと思っております。

最後になりますが、本年度も当協議会の運営に協会本部、会員並びに関係各位皆様の、より一層のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



平成30年度 第26回定時総会開催

— 業界全体のイメージアップへ 積極的な活動を —

総務委員会 副委員長 長山 朋之

本協議会の第26回定時総会が平成30年5月18日(金)、ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸において会員53名出席(委任状63名)のもと開催されました。

冒頭、小林会長は「本年度は喫緊の課題である働き方改革と生産性向上を最重要課題として掲げ、全会員で意識を高めてICT技術の習得や雇用改善に取り組んでいきたい。また建設フェスタをはじめ、現場実習、現場見学会、発注者との意見交換会、会員向けの講習を実施していくとともに、広報活動を通じ広く一般の方に建設業の魅力を伝えながら、将来一人でも多くの方に入職してもらえるようイメージアップ活動を続けていきたい」と挨拶しました。

続いて、(一社)茨城県建設業協会細谷副会長より「皆さまが中心となって働き方改革などに取り組んでいただき、業界のイメージを刷新してほしい。慣例化されたことをただ踏襲するのではなく、若い意見、新しい意見を活発に発進していただき、われわれが一丸となって業界の発展に取り組んでいかなければならない」とお言葉を頂きました。

その後、規約により小林会長が議長に指名され、次の議案について審議し原案どおり可決されました。

- 第1号議案 平成29年度 事業報告の件
- 第2号議案 平成29年度 収支決算報告の件
- 第3号議案 平成30年度 事業計画(案)の件
- 第4号議案 平成30年度 収支予算(案)の件

議事終了後、来賓あいさつで国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所の八尋裕所長が「皆様方は社会資本整備や維持管理、いざという時の防災危機管理を迅速に行う上で欠くことのできない大切なパートナー。若い行動力と決断力をもって新しいことにどんどんチャレンジして欲しい」と述べられ、続いて茨城県土木部検査指導課の羽成英臣技佐兼課長補佐(技術総括)が「地元建設業の役割や重要性を地域と共有できるよう、皆さまと一緒に広報戦略などに取り組んで参りたい」と述べられました。また、上月良祐参議院議員より祝電も賜りました。



事業計画などを決定しました



茨城県建設業協会細谷副会長



常陸河川国道事務所八尋所長



総会後には講演会も開催

総会終了後、エコノミストの崔真淑氏をお迎えし、「これからの日本経済と地方経済～技術革新(AI)を中小企業の味方につけるために～」という演題のもと、国内経済における一極集中型の現状、地方経済活性化のためのキーポイント、技術革新(AI)をいかに利用するかについての講演が行われました。

懇親会では多くのご来賓の方出席のもと、卒業生及び新規入会者の挨拶が行われ、盛況のうちに幕を閉じました。

「建設フェスタ 2017」開催！

地域貢献活動委員会 副委員長 生田目 勝義



平成29年10月29(日)、今回で24回目となる「建設フェスタ2017」をひたちなか市の笠松運動公園にて開催しました。ここ数年天気恵まれない年が続いておりましたが、今回も雨天での開催となりました。前日午後から降り続いた雨が当日中も降りやまず、会場全体が水浸し状態で、ミニ上棟式の他、幾つかのイベントが中止や内容変更を余儀なくされる、過去に例が無い事態となってしまいました。当然、来場者数も前年の20,000人から大幅減の8,000人と、ここ数年で



一番寂しい結果となってしまいました。今回は、例年に無い新しい取り組みとして、VRやアシストスーツ体験などの先端技術体験コーナーを設けたり、イメージアップ用快適トイレを設置するなど、事前の準備に気合が入っていただけに、非常に残念でなりません。来年こそは、晴天での開催になる事を期待いたします。



最後になりますが、このような状況の中でも、事故無く建設フェスタを開催する事が出来ました。ご協力を頂いた各機関、団体の皆様に改めてお礼を申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

パザー収益など皆様の善意金を寄附しました

本年も社会貢献活動の一環として、建設フェスタ内で実施したチャリティーパザーの収益金と当協議会のチャリティーゴルフコンペの収益金を、以下の通り寄付致しました。

【チャリティーゴルフコンペ収益金寄付】

- ・平成29年12月8日
社会福祉法人同仁会 内原和敬寮 (49,000円)

【建設フェスタチャリティーパザー収益金寄付】

- ・平成29年12月12日
骨髄バンクを支援するいばらきの会 (50,000円)
茨城新聞文化福祉事業団 (28,250円)
社会に貢献するための活動といたしまして、継続して実施して参ります。

建設未来協議会 会長 小林 圭一

円滑な業務へ行政機関と意見交換会

関東地方整備局 常陸河川国道事務所

総務委員会 副委員長 河野 真

平成29年11月15日(水)、常陸河川国道事務所会議室において、意見交換会を開催しました。

常陸河川国道事務所から八尋裕事務所長、武藤健治副所長、高森治副所長をはじめ、多くの方々にご出席下さいました。

はじめに、八尋所長より「建設業を取り巻く環境として、担い手の確保、生産性の向上、魅力度の向上などがあげられていますが、何はともあれ担い手の確保だと思います。新たに常総国道、下館河川さんとも意見交換会を行っているとお聞きしております。働き方改革なども含め、このような意見交換会の場が広がっていることは良いことだと感じています。今日は忌憚のない議論が出来ればと思っています」とごあいさつを頂き、続いて小林会長より「われわれ建設業の課題としては、生産性の確保と向上、ICTへの取組、週休2日制などの労働環境の整備がありますが、この課題はわれわれだけでは解決できないことなので発注者様と一緒に頑張って取り組んでいきたい」と述べまし



た。

次に常陸河川国道事務所から、地域インフラサポートプラン関東2017について、建設未来協議会から現場見学会、現場実習や広報活動などの活動報告についての情報提供が行われました。その後、建設未来協議会からの質疑、要望事項についての意見交換が行われ、発注者からも忌憚なき意見を頂き、有意義な意見交換会となりました。

関東地方整備局常総国道事務所 北首都国道事務所

県南地区幹事 赤塚 剛



平成29年10月27日(金)、茨城県県南生涯学習センターにおいて、意見交換会を開催しました。常総国道事務所の伊與田弘樹事務所長、下坪賢一副所長、北首都国道事務所の山田博道事務所長、

廣瀬一志副所長をはじめとする多くの方々にご出席下さいました。はじめに、伊與田所長より「圏央道も皆様のご協力もあり県内全線開通することができた」とお言葉をいただき、続いて小林会長が「引き続き意見交換会を開催して頂き今後に活かしていきたい」と述べました。

次に①常総国道事務所、北首都国道事務所から事業概要②建設産業政策会議（建設産業政策2017+10）③週休二日制の取り組み（工事工程表の開示試行工事）④ICT技術の現場活用⑤設計変更審査会の実施状況⑥建設現場における盗難発生状況及び対策⑦事務の集約化、圏央道の一部所管換えについて説明がありました。本年度も受発注者の垣根を越え、忌憚なき意見交換が行われました。

関東地方整備局 下館河川事務所

県南地区幹事 赤塚 剛

平成29年11月10日(金)、鬼怒川緊急対策プロジェクト監督官詰所及び現場において、下館河川事務所様と意見交換会を開催しました。下館河川事務所から里村真吾事務所長をはじめ、多くの方々のご出席下さいました。

はじめに、里村所長より「発注者側も勉強しながら、地域の建設業者の声を聞かせていただき、地域に良いものを造っていききたい」とお言葉をいただき、続いて小林会長が「建設業界では現状、人手不足などの問題が起こっている。有意義な意見を交わす会となれば」と述べました。

次に①入札公告の資料や同種工事の施工実績②設計変更の簡易型③ICT施工における考え方④



地域インフラサポートプラン関東2017⑤建設業の魅力などを紹介する「技術者スピリッツ」について説明がありました。受発注者の垣根を越え、忌憚なき意見交換が行われました。

茨城県土木部

総務委員会 副委員長 長山 朋之

平成29年8月2日(水)、茨城県建設業協会5階会議室において、茨城県土木部と建設未来協議会の意見交換会を開催しました。茨城県土木部から古平祐次総括技監、藤田幹雄技監兼検査指導課長、萩本浩志監理課副参事をはじめ監理課、検査指導課、道路維持課から多くの方々のご出席下さいました。

冒頭、小林会長は「入職者を増やすためにも、建設フェスタをはじめ、これまで以上に力を入れて活動していくことが大事となる。雇用改善やICT施工の導入を円滑に実現するためには、発注者・受注者が歩調を合わせていくことが大切である」と、あいさつしました。

続いて、古平総括技監より「公共インフラを支える建設業の担い手を確保するためには、就労環境の改善、生産性の向上、魅力ある産業として中長期的に認識されていくことが重要である。土木



部としては、工事の品質や安全の確保、職員の技術力向上、改正品確法の適切な運用、設計変更ガイドラインの策定、4週8休モデル工事の実施をはじめとする担い手確保の対策、i-Constructionの推進などに積極的に取り組んでいる。そして、魅力ある建設業の広報については、地域のまもり手としての重要性をアピールしていくことを皆様と共に考えていきたい」と挨拶を頂きました。

意見交換会は、茨城県土木部、建設未来協議会双方の情報提供に始まり、建設業の昨今の課題についてのフリーディスカッション、建設未来協議会会員が日頃抱えている問題・課題についての意見を交わしました。

意見交換では、ICT（情報化施工）や新規雇用対策（週休2日制、職場環境の改善等）、建設業PRの為の広報活動について話し合いました。

質疑要望では、①現場管理②入札・契約③設計図書④その他、について話し合い、茨城県土木部の皆様から前向きで有意な回答をいただくことができました。

建設業においては様々な課題が山積していますが、官民一体となり解決に取り組む必要があります。会員の皆様におかれましては、この意見交換会が1つの切っ掛けとなるよう、茨城県土木部へのご意見・ご要望の提起協力をお願い致します。

「第5回建設ふれあい祭り」を開催

～境町利根河川敷に2000人来場～

県西地区幹事 串田 一仁

建設ふれあい祭りは今回で5回目の開催になります。今回は、平成29年8月26日(土)に境町利根河川敷にて行い、晴天の中2000人のお客様にご来場いただきました。このふれあい祭りは「地域の子供たちに楽しい夏休みの思い出をプレゼントしよう!」というのが基本概念です。

前日は未来協議会境支部の会員と県西地区会で準備を行い、各社が所有している「社名入りの機械」をたくさん持ち寄りました。バックホウ・タイヤショベル・タイヤローラー・高所作業車・アスファルトフィニッシャー・草刈機と多くの重機が揃いました。安全面ではカラーコーン・バーを



用意し重機搭乗体験内に入れない様に会場を設営しました。

開催当日は朝早くから多くの家族連れでにぎわい、子供たちの明るい声と笑顔がたくさんあふれていました。会場アンケートでは「非常に楽しかった」「カッコイイ」「来年も来たい」「皆さんやさしかった」「親子で楽しめた」など嬉しい声をいただきました。

重機に乗る子供たち、家族の笑顔を見て、建設業に携わっていることを誇りに思えるようになりました。地域に貢献しイメージアップに繋げることで、建設業が子供達の憧れの職業になるよう、これからも継続していきたいと思えます。



常陸太田工事事務所と意見を交換しました

高萩・太田地区幹事 中井 将史

高萩・太田地区は、高萩工事事務所および常陸太田工事事務所と隔年で意見交換会を行っており、平成29年度は常陸太田工事事務所との意見交換会を実施しました。7月26日(水)に常陸太田合同庁舎会議室にて茨城県常陸太田工事事務所からは内木二三男所長をはじめ各課課長、検査監など執行部の皆様に御臨席頂きました。

内容は管内の事業概要や工事発注状況、担当課長及び検査監よりの現場管理に関する講和、そして質疑応答による意見交換などで、ざっくばらん



な雰囲気の中お互いの立場での意見、質問、要望等が活発にだされ、大変貴重な意見交換会になりました。

衛生的環境を確保
作業体験に大興奮

砂場クリーン作戦遂行！

地域貢献活動委員会 副委員長 秋山 正人

平成29年6月1日(木)に第4回の「平成29年度砂場クリーン作戦」を昨年に引き続き実施いたしました。この企画は、これから未来へ羽ばたいていく次世代の子供達に、安全で衛生的な砂場環境で遊んでもらうことと共に、自分達が直接関与し、自分達で砂場をきれいにしたんだという達成感を自らの成長に繋げてもらえればと、地域へ貢献する活動として砂場清掃奉仕活動を実施しているものです。今回は、水戸市にある学校法人常磐大学が運営する「認定こども園常磐大学幼稚園」にご協力いただきました。

作業内容としましては、

- ①重機、人カスコップにより砂を場外へ掘り起こす作業。
- ②電動砂振るい機、振るい網（人力）による、異物除去等振るい分け作業。
- ③振るい分けによって目減りした砂を補充する補充作業。
- ④口に入れても無害な消毒液散布による、除菌・抗菌作業。
- ⑤犬猫等の小動物糞尿害を防ぐ為の防除ネット製作・設置。



を行います。

砂場は大小二つあり、二班に分かれ、園児達にも振るい網による振るい分け作業を体験してもらいました。カラーコーンやバーなどで安全管理をしながら重機やダンプトラック等を搬入した為、実際の建設現場のような光景に園児達も大興奮の様子でした。作業を終えてみると、小石、小枝、枯葉、プラスチック片、金属片そして玩具等を除去する事ができました。幼稚園の先生方からは、感謝の言葉をいただき、そして何より作業初体験で目を輝かせている園児達の姿を見ると、もっとこれからも地域の為に貢献できる委員会として活動できればと感じました。そしてその活動が、延いては私たち建設産業の発展にも繋がっていくものと確信いたしました。

最後に今回の砂場クリーン作戦活動にご協力いただいた「認定こども園常磐大学幼稚園」をはじめとした関係者の皆様に感謝を申し上げますと共に、今後もこのような活動への変わらぬご協力、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

中学生が建設業を体験

高萩・太田地区 幹事 中井 将史

平成29年12月13日(水)に、高萩市立秋山中学校において中学生への建設業体験学習を行いました。

秋山中学校の2年生62名に建設業の創る喜び、楽しさを感じてもらうとともに将来の建設業入職希望者を増加させる一助とすべく計画実施している当地区会のメイン事業であります。

当日は地区会員の指導の下、重機操作体験、測量体験、ベンチ製作体験の3工種をローテーションで一通り体験してもらいました。どれも普段の生活ではなかなかできない体験をしたという声を多くいた

だきました。製作したベンチは屋外用として寄贈され、大切に活用させていただきますと秋山中学校の高野雅英校長先生よりお言葉を頂きました。



次代を担う若人たちが建設業を体感

現場実習・見学会を開催



次世代を担う高校生・専門学校生・大学生を対象に建設事業の正しい理解と魅力を感じていただけるように毎年、現場見学会・現場実習を開催しております。今年度は建設現場実習に6つの高校、3つの専門学校の学生、計137名に参加していただき、茨城県建設業協会の会員企業53社が受け入れ、各社で3日間の現場実習を行いました。建設現場見学会は7つの高校、2つの専門学校、1つの大学から500名の学生に参加いただき大規模建築工事や笠松運動公園改修工事、日立建機ICTデモサイトなどを見学しました。

現状、建設業界も他業種同様、人材不足・高齢化が問題となっております。茨城県でも普通科学

人材・システム委員会 委員長 新井 紀雄

生対象のインターンシップ、4週8休のモデル工事の実施、労務単価の見直しなど若年入職者の増加に向けての取り組みが強化されており、実習・見学会に参加した生徒さんのアンケート結果からも建設業界への入職の可能性が高まってきています。今後も建設現場で自分の目で見て、感じて将来の進路を決める一助となるように学校関係者の皆様と連携を取りながら事業を実施してまいりますので会員の皆様のご協力をお願いいたします。

結びにこの事業にご協力を賜りました茨城県土木部、国土交通省、実習生・見学生を快く受け入れてご指導いただきました会員企業の皆様にご心から御礼申し上げます、ご報告にかえさせていただきます。



中学生たちがものづくりの楽しさを学ぶ

谷和原中にやわろぐハウス建築

平成29年度のCCI茨城（「茨城県魅力ある建設事業推進連絡会議」）「建設業体験学習」は、9



県南地区幹事 赤塚 剛

月29日(金)と10月12日(木)の2日間、つくばみらい市立谷和原中学校の2年生120名を対象に実施しました。

1日目は雨天になってしまった為、体育館にてドローンを用いた測量をコマツ茨城様のご協力を頂き実施しました。ドローンによる最新測量技術に生徒さんたちも興味津々でした。建設業の先進技術をお伝えする事が出来たと思います。

2日目は、スタッキングハウス組立作業と重機操作体験を1クラスずつ交代で実施しました。スタッキングハウスは角材を1段ずつ積上げて固定

していく方式です。はみ出した接着剤も締めすぎたナットもお構いなしで、順調に組み上がっていききました。また、小型バックホウ3台を使っでの重機操作体験では実際に掘削や整地の作業を行い、生徒たちは自分の操作でアームが動く様子に目を輝かせていました。

完成したハウスは生徒たちの公募により「やわろくハウス」と命名され、11月22日(水)の引渡式を経て学校へ寄贈されました。その後体育倉庫として有効活用されているとのことでした。

今回体験学習に参加した生徒たちの中から建設業に興味を持ち将来建設産業に携わる仲間が一人

でも多く出てきてくれることを願うと共に、体験学習にご協力いただきました茨城県土木部検査指導課、茨城県建設業協会をはじめ多くの関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



ベンチ付きテーブル製作体験

鹿嶋市立大同西小学校の6年生

鹿行地区幹事 菅谷 一成

平成29年11月28日(火)に、当地区恒例のベンチ付テーブル製作体験学習を鹿嶋市立大同西小学校にて開催しました。

この体験学習は、子供達と当会員が、グループごとにベンチ付テーブルを一緒に作ることで、共同作業による協調性また連帯感、ひとつの物を作り上げる達成感というものを感じてもらおうものです。体験を通して、ものづくりの楽しさを記憶に残してもらい、建設業が将来の選択肢となるような、きっかけ作りを目的としております。今回は6年生(28人)と当地区会員20人で一緒に行いました。

まず、6年生に各班7名、男女混合全4班に分かれてもらい、始まる前に組立図面と出来上がりの写真を生徒たちに見せ、工具の取り扱いを説明しました。工具の名前の説明時に「モンキーで押さえても大丈夫」と言った時には、生徒達から「サルが押さえるんですか?(笑)」なんてツッコミがあったりするなど、会員もタジタジでした。

しかし、作業がいざ始まると生徒たちは真剣な眼差しで、作業に取り組んでいました。電動工具でのビス打ちでは、夢中になり過ぎて、ビスが奥までめり込むような場面もあり、笑いありハプニングありの作業となりました。そんな中でも、各班どこを見ても仲間外れを作ることなく、協力し

あっている姿に関心しました。

ベンチ付テーブル完成後は、生徒みんなですり、自分たちで作った物の出来ぶりを評価しあいながら、記念撮影を行い、終了となりました。

最後に生徒達が用意してくれたお茶を、作ったベンチ付テーブルで飲んで生徒たちに今回の感想を聞いたりしました。和気あいあいと話は盛り上がりましたが、建設業をやりたいという言葉はなかったです・・・(泣)が、みんな喜んでくれていたので、子供たちの明るい未来に期待しているところです!

子供たちの笑顔Pricelessで締めくくりたいと思います。



— 各地の若手経営者たちと交流深める —

北関東三県建設業協会青年経営者等合同会議 於 宇都宮東武ホテルグランデ

平成29年9月7日(木)、栃木県宇都宮市の宇都宮東武ホテルグランデにおいて、「北関東三県建設業協会青年経営者等合同会議」を開催しました。今回は、茨城県、群馬県、栃木県の北関東三県建設業協会の若手経営者らに加え、千葉県建設業協会の青年部会にもオブザーバーとして参加していただきました。本会議は、各県の建設業協会に所属する若手経営者らが建設産業のあるべき姿と方向性を議論・検討するとともに、各県の活動内容を把握する目的で、平成24年度に栃木県を主幹としてスタートし、今回で4回目を数えます。会議では、地域貢献活動や人材育成事業、発

注者との意見交換会など、それぞれの事業について報告を行い、各県の入札制度などについて意見を交換しました。

今回の開催により担当県が2周目に入り、各県の関係がより一層深まっていると感じます。また、時代とともに業界を取り巻く環境も変化しますが、地域固有の課題もあるなか、大きな視点で見れば解決しなければならない課題は同じではないかと思っております。本会議により、お互いが抱える問題・課題について意見を交わすことで、課題解決の糸口となるよう継続していきたいと考えています。

全国建設青年会議全国大会

第22回目となる全国建設青年会議全国大会が、平成29年12月1日(金)に、四国ブロック主幹のもと「地域建設産業の存在意義と可能性—地域をささえるために—」をテーマにリーガロイヤルホテル東京にて盛大に開催され、来賓を含め全国9ブロックより、若手経営者ら約500名が参加しました。

姫野大会会長の「成熟期を迎えた日本の未来は、地方創生の実現、各地域が特色ある発展をできるかどうかにか懸っている」とのあいさつに始まり、石井啓一国土交通大臣より「魅力ある建設産業の実現を目指す上で、青年経営者の皆さんに中心的な役割を果たしてほしい」と祝辞をいただき

於 リーガロイヤルホテル東京

ました。

その後、森昌之国土交通省技監が「安全安心な国土づくりと生産性革命」と題し、特別講演。厳しさを増す建設業において、局面の打開に向けた取り組みなどを中心にお話いただきました。

パネルディスカッションでは「災害と日常、建設業の未来」と題し、外部の有識者らと交え、「地域建設業が担うべき役割」や「真に地域になくてはならない産業となるためには」などを考え、討論しました。

建設業の未来を語り、全国の仲間と価値観を共有することで、これからは繋がる大会となったと感じております。

関東建設青年会議

平成29年9月29日(金)、ラフレさいたまで2017年度(平成29年度)通常総会ならびに国土交通省関東地方整備局との意見交換会を開催しました。当会議は、関東地方各県建設業協会に所属する若手経営者により組織されています。

総会では、会員相互の情報発信・共有を掲げた事業計画(案)や昨年度の事業報告について報告・承認され、その後、同会場で関東地方整備局幹部と当青年会議で、建設業界を取り巻く課題や新技術・施策などに関して意見交換会を実施いた

於 ラフレさいたま

しました。

意見交換会に際しては、関東地方整備局の泊宏整備局長から「インフラの整備・メンテナンス、災害対策を進めていく上で、地域建設企業の力は不可欠。建設業界の未来を担う皆さまが、課題や方向性について議論することは有意義だと思っている」と激励のお言葉を頂きました。

平成30年度・31年度は、当県が会長県を務めます。今後も、引き続き全力で取り組んで参りたいと存じます。

委員会紹介

総務委員会

担当副会長 大曾根理一郎 (株)大曾根建設
委員長 櫻井俊一 (櫻井建設工業(株))
副委員長 田山浩之 (第一熱学建設(株))・後藤一憲 (株)後藤工務店・長山朋之 (長山工業(株))・河野真 (株)河野工務店・仁平大介 (株)仁平工務店
委員 須田要介 (日立土木(株))・小林信昭 (株)小林建設・平山悠 (株)水府工務店・大曾根篤 (大栄建設(株))・吉原政文 (吉原建設工業(株))・飯塚揚 (株)飯塚工務店・石津松吾 (石津産業(株))・石津弘敏 (常総開発工業(株))・鏑木大輔 (鏑木建設(株))・飯塚亮平 (飯塚建設(株))・塚原健一 (株)塚原建設・石川崇 (北条工業(株))・田林剛 (勝工業(株))・田所大和 (株)ワイエスケイ・白田諭 (白田工建(株))・柴信一 (旭建設工業(株))・中山英士 (のだや建設(株))・中山英俊 (株)染谷工務店・根本忠志 (株)根本工業・高橋拓也 (株)高橋芝園土木・松本浩治 (株)新栄開発

人材・システム委員会

担当副会長 柴直樹 (株)柴建設
委員長 新井紀雄 (新井土木(株))
副委員長 田口富之 (株)田口工務店・横田修一 (株)横田建設・井坂陽介 (株)井坂組・赤塚剛 (株)赤塚土木興業・大和田隆之 (株)大和田建設・染谷真一 (有)染谷建設工業
委員 雲井憲正 (株)雲井工務店・黒澤勝 (アルプス建設)・小池良一 (有)小池工務店・中井将史 (株)中井工務店・中野陽平 (株)根本組・石井貴之 (有)石井建設・石井公彦 (株)角石・大森裕一郎 (大森建設(株))・齋藤靖弘 (有)サイトウ緑地開発・安藤祐章 (株)鹿島企業・大川雄生 (株)サンワ興業・軍司修利 (軍司建設(株))・城内浩和 (株)大平工業・細田誠一 (誠殖産興業(株))・茂木充史 (水郷建設(株))・森貴敬 (森新建設(株))・谷田川智久 (株)ホソヤ工務店・赤塚康伸 (赤塚工業(株))・鈴木亮 (北都建設工業(株))・川田秀樹 (株)川田建材工業・鮎川和男 (飯田建設興業(有))・高塚誠司 (高塚建設工業(株))・野口貴生 (野口機設工業(株))・新井邦幸 (株)新井建設工業・印出正人 (株)丸建工業・大橋一博 (森田建設工業(株))・小川敦史 (小川建設工業(株))・菊池忠行 (株)菊池工業

地域貢献活動委員会

担当副会長 吉田長邦 (株)吉田組
委員長 内藤裕一郎 (株)内藤工務店
副委員長 秋山正人 (株)秋山工務店・根本昌義 (株)根本工務店・若松亜紀子 (菅原建設(株))・生田目勝義 (有)生田目工務店・高野弘康 (株)高野工務店・川崎和洋 (株)川崎建設・菅谷一成 (有)菅谷工務店・菊池健郎 (株)菊池土建・串田一仁 (株)クシタ建設
委員 北島博 (有)北島工務店・仙波秀教 (仙波建設(株))・高野和子 (株)鯉淵工業・高橋順子 (高橋建設工業(株))・益子朋 (益三建設(株))・岡田寿浩 (株)岡田建設・鈴木欽一 (株)鈴木組・瀬谷政行 (瀬谷建設(株))・浅川宗典 (株)浅川建設・井上将人 (株)井上工務店・大内榮樹 (株)大栄建設・澤畑弘樹 (東康建設工業(株))・清水亮 (株)本田工務店・高倉美佳 (高倉建設工業(株))・根本貴史 (ネモト建設工業(株))・野上大輔 (野上建設(株))・橋本将一 (橋本建設(株))・八木満津雄 (株)八木組・横須賀靖 (横信建材工業(株))・石井愛理 (有)石井工務店・柳瀬香織 (海老根建設(株))・小野口整慶 (常陽開発工業(株))・齊藤卓也 (株)齊藤建設工業・新堀進也 (株)新堀産業・藤井雅成 (株)丸二工務店・藤枝賢一 (藤枝建設(株))・犬塚正一 (株)和城産業・保立明宏 (株)宏洋・松崎祐二 (松崎建設(株))・櫻井郭実 (有)櫻文工業・篠崎尚史 (株)篠崎工務店・福智勇人 (福智建設工業(株))・仲川将大 (株)仲川建設・堀江平 (堀江産業(株))・大坂寛暁 (大坂建鋼(株))・鈴木茂 (鈴木鉄工建設(株))・野中泰博 (常総ブロック(株))・青木敏紘 (株)青木建設・小澤淳 (小沢道路(株))・高崎弘道 (株)高崎建設

広報委員会

担当副会長 高田稔美 (株)高田工務店
委員長 鈴木達二 (鈴縫工業(株))
副委員長 荒川繁美 (水戸土建工業(株))・生田目恵明 (株)進栄・栗山秀樹 (栗山工業(株))・小倉健太郎 (株)小倉工務店
委員 宮本裕司 (芳野工業(株))・郡司誠 (株)郡司建設・浅野明俊 (浅野物産(株))・細谷貴弘 (細谷建設工業(株))・石嶋尚 (株)石島建設・山本明宏 (株)下妻建設・加藤裕司 (加藤建設工業(株))

ICT施工講習会を開催

人材・システム委員会 委員長 新井 紀雄

平成30年1月26日(金)にひたちなか市の日立建機ICTデモサイトにおいて26名参加のもと「ICT施工講習会」を開催しました。座学では茨城県検査指導課の中島孝次係長に「茨城県におけるICTの取組み」について説明を頂いたほか、積算やICT建機の仕組みなどを学びました。



実技では、MCバックホウ、MCブルドーザ、ドローンによる測量を体験しました。ICT施工は、今後、仕様や規格の改定が予想されるので引き続き講習会や勉強会を開催したいと思えます。

イメージアップへ情報発信

広報委員会 委員長 鈴木 達二

地域社会になくはない「未来産業・将来産業」としての建設業をPRすべく、広報委員会では協議会の活動や地域建設業に関する情報を積極的に発信し、メディア露出を図っています。



インターネットでは、より見やすくリニューアルしたホームページとFacebookを活用し、一般の市民の皆様への情報発信を行っています。

今後はより広いターゲット層に向けての新たなSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用やイメージアップイベントの企画に取り組んでいきたいと考えています。

ぜひ一度、建設未来協議会ホームページ、Facebookページにアクセスしてみてください。

ホームページ：<http://www.miraikyo.com/>
Facebook：<https://www.facebook.com/kensetsumiraikyo/>

(もしくは「建設未来協議会」で検索。)

●平成29年度 入会者

地区	氏名	商号
県西	中山英士	のだや建設(株)
高萩・太田	石井貴之	(有)石井建設
高萩・太田	平山悠	(株)水府工務店
大宮・大子	浅川宗典	(株)浅川建設
大宮・大子	石井愛理	(有)石井工務店
大宮・大子	吉原政文	吉原建設工業(株)
県西	白田諭	白田工建(株)
県南	浅野明俊	浅野物産(株)
水戸	高野和子	(株)鯉淵工業

●卒業された皆さん

地区	氏名	商号
水戸	関根貴雄	(株)関根工務店
水戸	西山孝	(株)西山工務店
鹿行	姥貝丈司	(株)姥貝組
鹿行	小山竜男	小若建設(株)
鹿行	松崎陽樹	(株)松崎土木
県南	木村保幸	キムラ工業(株)
県南	根本順一	(株)根本興業
県西	森寛樹	森建設(株)
県西	柳澤克彦	(株)柳澤工務店
県西	塚田弘	塚田建材(株)

編集後記

建設未来協議会では今年も多くの方が卒業しました。近年、会員数が年々少なくなっている状況です。昔の建設業といえば3Kというイメージが強く、決して良いイメージは持たれていませんでした。しかし、最近ではたくさんの活動が行われ、イメージアップにつながっています。今後も活動していくためにも建設未来協議会の会員数を少しずつでも増やしていきたいと思えます。(M・K)